



針葉樹會報

一橋山岳部及針葉樹會員諸兄 (關 生)

前略唯今「針葉樹」を頂きました。そしてこの電信課の殺風景そのもの、様な部屋の混雑中でヒラ／＼と頁を繰つたり寫眞を眺めたり、そして何よりも先づ山小舎欄を、特別の興味を以つて讀ませて貰ひました。とても嬉しいので遂に筆をとつて一便認めさせて頂かうかつて氣になりました。時間は九時五十分。豫定の勉強期間を三ヶ月もカットされて昨日電話で呼び出されて出て来て今日は初めて暗號電信の翻譯で、頭がフラ／＼になつて終ひました。金庫番兼宿直と言ふ譯で、こゝしばらく、たつた一人でこの事務所の屋根裏へ住む筈です。尤も四階下の地下室にはポーター一家が住んでゐますが……。仕事を済まして、別に行く所もないので同僚とピカデリー邊をウロついて歸つて來た所でした。聞くと見ることは大違ひ。今迄の勉強期間には、西南部のエクセターの田舎大學の寮で、飽く迄も若やいだ輝しい生活をエンヂョイして居つた身が、一通の電報によつて、丸つきり打つて變つた、この半

牢獄的生活に轉換した事のわびしさ。そのわびしさとヴカンシーの唯中へピーター・パンの火の玉の様に舞ひ込んで來た「針葉樹」はこの上も無く嬉しいものでした。

山と縁はスツカリ切れた様なもの、この極度に山の生活とは異つた生活は、今日も電信コードをグル／＼疲れ切つた眼で探し廻つてゐる中にも、あゝ何さかして緑の世界へ逃れ度いものだと思はせた事でした。吹原が送つて呉れたアルパイン、カレンダーが唯一の山との連關ですが、その一枚一枚の寫眞をターン・オッフして行く中に、あの數年前の自由の日、輝しかつた一橋と國立のグッド・オールド・デーズを想ひ出す事です。秩父の秋、穂高の夏、野澤發哺の冬。この俺にも、あんな時があつたのかとシミジミと考へて居る事です。下らぬ事を書きましたが、一寸人間にはこんな事を書いて見たい時間があるのだと御勘辨下さい。では皆々様のグット・ラックを祈上げます。取敢えず御禮迄。

(未だ荷物が着かず、公用の用箋にて失禮致します)

會報に就いて 園山徳三郎

過日の針葉樹例會席上で興味ある話題の一に、針葉樹會の出來たのは何年何月だつたかといふ問題が出た。創立者たる面々が商大入學當時の秀才振りを發揮出來ずにあれやこれやと記憶の糸を手繰つてゐた時、俄然エンサイクロペヂスト増山清太郎君に依つて間髪を入れない解決が與へられ、餘りの正確さ、餘りの敏活さに

流石多言の會員諸君も呆然として無氣味な沈黙に陥つてしまつたのであつた。

そこで此の問題に就いては例のマゼカヘシの討論を加えるべき餘地がなくなつてしまひ、止むを得ず鼻を折られた一同は針葉樹會報の話に移つたのであつた。四月から活版印刷に昇格する景氣の良い話から勢付いた一同は大河の堰を破るが如く賑かな喋舌戦にさりかゝつた。曰く、創刊以來の記事をプリントすべし。否範圍を傑作集にさゝむべし等々々。その結末がどう付いたのか遂に聞き取れなかつたのは遺憾だが、とにかく從來の謄寫版印刷の會報が豪華な本格な活版に昇格するに當つて相當の記念事業が企てられて然るべきだと思ふのは僕一人ではあるまい。

顧みれば謄寫版時代の會報も通巻第五拾四號を算する。その間幾多の傑作が紙面を飾つて各地に散在する會員諸君を悦ばしめた事であらうぞ。僕が編輯した過去一年の内にも、自他共に許す名文が多々ある。同じ發行するにしても粒選りの原稿の揃つた時は我が事の様に嬉しいのに引きかへて、期限に追はれて止むなく形式的に發行したといふ様な場合は原稿の質も量も不充分だし校正の間違ひも眼に餘つて全く淋しい。こんな點では中川さん、村尾さん、近藤さんといった各々趣を異にした名文家、多作家に心からなる謝辭を捧げたい。月末になつて原稿の不足に、ひとり細い胸を痛めてゐる時、部厚な開封が配達される、見れば特に頼みもしてないのに送つて呉れた原稿！ 思はず眼頭が熱くなる。地獄で佛だ。こんな頼もしい人たちを熊ださか狸ださか動物呼ばはり

せねば會則違反になるとは、何たる……あゝ何たる事なんでせう。この様に編輯の内幕を述べたからには、未だ地獄での佛になつた事のない人たちも佛心を起して新編輯子辛川君に原稿不足の嘆なからしめんと努めて呉れるにちがひない。

時に今度退會した中森長太郎君の意見を聴くと、在京會員はともかく、地方會員にとつてあんな會報だけで參圓の會費を取られるのは堪らんですとの事です、そんなにつまらないのでせうか。面白さに參圓の價值があるかないかは別問題として（會報は賣物ではないのだから）とにかくそんなに面白くないものでせうか。尤も從來の會報の傾向は幾分偏した點のある事は認めないではない。どう偏してゐるかと言へば、ザ・オールデストボーイズ中心になつてゐるのだ。極く若い人たちから見れば、何だか譯の判らない事を言つて先輩たちが愉快がつてゐる——といふ感じがするにちがひない。自分たちには面白くも可笑しくもない事を先輩は揚げ足をとつたり辨解したりして面白がつてゐると思つてゐる人が幾らかあるにちがひない。然しこの點に就いては若い人たちにも責任の一半は有る。何故若い人たちはそれ相當の面白い原稿を出して呉れないのか。會報の編輯は公平だ。集つただけの原稿は載せちまふ。處が一二の例外を除けば、若い人たちに幾ら頼んでも原稿を書かないのだ。それでは會報が年寄り本位になるのも止むを得ないではないか。中森君の面白くないといふ意見も自家撞著の様に思へるが如何。

現役の諸君、ホヤ／＼の學士諸君！ 思ひ切つて書き給へ。

富士山に關する文獻の蒐集に就て

會員諸君に願ひ

増山 清太郎

一時流行を極めた山岳圖書蒐集熱が、近頃急に衰へて古本の値段は下るし、一度流行したお影で、商品價値の低い本も埋れてしまはないので、山の本を集めるには大變好都合の御時世になつて來ました。かうした事を筆にするにも、時流に銜ふ嫌がなくて好いです。

處で近頃富士山に關する文獻を蒐集してゐます。學校を卒業する頃に考へた。これからは今までのやうに山にも登れまい。その腹癪せに山の本でも集めて見ようかと。併しあらゆる山の本を集めるのは、不可能且無意味ですから、方面を限らなければいけない。色々考へた末に、富士山に關する圖書か、或は遭難報告類が面白いと思つたのですが、後者は縁起でもなし、殆ど入手不可能のものも多く、加之當時春日何さかいふ男が「日本山岳遭難史」さか云ふインチキ極りない續物を「山と溪谷」に載せてゐたのでそれに顔負けして、陳腐乍ら富士山の方を始めた譯です。

さて象牙の塔を追はれて見ると、幸に恩師幸田教授のよき御理解の下に、案外山に行ける、二年間に五十幾日かを山に送りました。そんな譯で山に費すべき時間と精力と費用が、殆ど全部實際の山行に費されて、本の蒐集や針葉樹會の爲に働く事などは、兎

角怠り勝です。けれどもかうした事業は獨りで頑張つても出來ない譯ですから、誌上を借りて會員諸君の御協力を願ふ次第です。

富士山に關する文獻の數と量は、實に夥しいものでせう。従來も故曾我部一紅を始として、蒐集に努めた人も何人があるやうですが、小生は一寸目先を變へて、左の方針で行きたいと思ひます。

一、時代を明治以後に限ること

二、全篇を富士山に費してゐないでも、富士山に關する記事を含む單行本及び新聞雜誌を蒐集に加へること

三、蒐集に先行して「富士山文獻目錄」を作製すること

斯くの如くにして、現在目錄に約四百種の文獻が採録せられ、内二百種足らずが小生の書架にあります。前途遼遠、ざつと二十年も経つたら目鼻がつくでせう。

處で諸君に願ひしたいのは、何たるを問はず富士山に關する記事を御覽になつたならば、その著者、論文の題名、所載雜誌（或は單行本）發行年月日、發行所を小生まで御知らせ願へれば幸甚に存じます。題名に「富士」といふ字が出て來ないものと、今後發表されるものは、特に見逃し易いですから御注意を戴くようお願い致します。近頃隨分いろ／＼な山岳雜誌があるやうですが、その月々の「山岳文獻目錄」といつたやうなもの——これなどは日本山岳會あたりで作つて呉れると山岳界を裨益すること尠くないのですが——が發表されてゐない今日、私が獨りで目を皿のやうにして見張つてゐても、見逃しは隨分多いと思ふからです、御注意の重複して來ることは少しもいとひません。

現在迄に管見に入つた文獻の中、比較的興味を感じたもの（奇觀書といふ意味でなく）を二三次號以下に解説して見たいと思ひます。今までさて決して秘密にやつて居た譯ではありませんからこう云へば一部の諸君は「來月はあれだな」と思ひ當るでせう。

御 目 得

最後の試験が終つた時に第一に問題になつた事は勤先が何處だらうと言ふ事であつた。三月十四日色々の意味で感慨の深い人事課の受付に行くと課長にバツタリ出會つた。「やあこれは……君は北海道でないぜ」此が課長の第一聲である。しめた、此れで東京、横濱、大阪、神戸の可能性が出来た譯だ。が然し、課長代理に合ふや否や、そんな期待は、一ぺんにけし飛んでしまつた。「臺灣や漢口へ行くのもあるんだから、まあ我慢するんだね」などなぐさめてくれる。此の時僕の顔は泣き笑ひだつたに違ひない。ところがなぐさめてくれる人は東京を去るのを悲しく思つてゐるんだと考へてゐるに違ひない。山と雪とから絶縁されるのを悲しんでゐるんだとは知る由もないのだつた。

勤先が定ると、次に重大なのは此の休は何處へ行くかであつた。十九日まで色々の用事で出られないから使へる日は四、五日に過ぎない。ねらつて居た白馬は先づ見込はない。と、ひよつくり目に入つたのは「樹氷を見るスキーツアー」の廣告である。一度藏王へ行き度いと思つてゐた所なのだし先生が各務良幸、馬場忠三郎

兩氏なら相手に取つて不足もあるまいと思つたので、早速その方へ決めたのだつた。二十日に申込んだ所四十八番である——二十日の夜出發である。後で聞いて見ると、此種ツアーには募集人員の半分集れば良い方との事である。去年の五月の立山など欠損との事である。午後仕度してゐる所に望月君がやつて來て「小林も行き度いと言つてゐるんだがね」この事、そこで、所謂ツアーなるものに二人が参加する事になつたのである。例の通り、上野に着いたのは發車の十分前。馬鹿丁寧なビューローの人の氣をもむのを尻目に食糧の仕入と出掛る。此んなのも、アウトドアースキー術の一種に相違あるまい。實を言へば、小林君が席を取つてゐて呉れる事を知つてゐるからだ。赤と、青と、二人のメツを睨みながらそれでも樂々と寝る事が出来た。山形からバスとボロフォードとの交錯で山ノ神へ。我々の乗つたバスの中に忠さん色色の黒い山形辯の眞似の巧な一見それと知れる先生とが乗つてゐたが此が河上先生とは知らなかつた。各務さんは見當らない。ツアーの本陣は辻屋で我々は高見屋へ。一風呂浴びて歸ると繪葉書の配給だ。同室は山一證券の土肥原氏と昭和醫專の高橋君。一時から足ならしに鳥兒の下まで。「雪が悪くて危険ですから今日は此處で歸りませう。」と先生の曰く。忠さん先頭で、先生が殿で下る。先生の殿はけだし適任中の適任である。こぼれた女子供を拾ふに妙を得てゐる様に思はれた。雪は堅いが制動が樂に効いて鐵道省には危険の様であつた。

夜になると指令が來る。「明日は六時出發藏王へ行きます。」と

の部屋でも張り切つて寝た様である。Dさんは胸と膝を打つて元氣ないが、我々三人は、山の話に餘念がない。勿論明日は棄權を申述べて。我々の寝てゐる中に仕度は済んで七時には「ツアー」は出發したらしかった。九時我々は高見屋の主人に案内されて出發した。高見屋の主人は郵便局長で、しかも高湯隨一の山に明るい人である。「今日もツアーと一緒に出發しなければならなかったんですが、お客さんが残つてゐるんで後から行きます。此の通り用意は出來てますが、と言つて残つたんですよ。昨夜からシールを張つてあつたんで助かりました。何時もお客さんにかこつけて寝坊するんですよ。ゆつくり行きませうよ」と本當にお世辭ではなさそうであつた。地藏で先に歸る先生一隊に出會つたが、鐵道の茂木さんのお嬢さんの方が先生よりうまいであつた。忠さんの率ゐる一隊は熊野の最高點に居た。神社の所で忠さんの一隊に出會ふ。昨日からじろく忠さんを看視する僕の顔を見て、變な笑ひ顔をしてゐた様だつた。此處から忠さんはラストになつて滑つてゐたが流石に先になるさ止つて皆を待つてゐた。統制を亂した我々は又もや溜つてゐる所をなんとも言はずにすつ飛ばして來た。

宿の御主人が残り拾つてくれてゐるので、何の心配もなく忠さんの足並を拜見出來たしザンゲ坂（コーポルトヒュッテの上の急坂である）での勇ましい轉倒も見せてもらつた。勿論お相伴でこつちもひつくりかへつてしまつたけれども。

樹氷は連日の天氣で見られなかつたけれども、ザラメがかつた雪、起伏の多いダウンヒルコースで面白い。丁度横手から熊の湯

へ下る道をもう少し急に凸凹にした様な道である。宿に歸つたのは二時。往復五時間位で樂な面白いコースの一だと思ふ。

扱「ツアー」なるものは我々の思つてゐる程ツマラナイものではない。勿論最も弱い人を標準にするから多少物足りぬ所があるかも知れぬ。茂木さんも、足並そろへる事は考へてゐると言つてゐた。我々の様に統制を亂す事は勿論よい事ではないが、それをも許してくれるし、宿の待遇はいゝし、町の人は「ツアー、ツアー」と大事にして呉れるし、人形のお土産を呉れるし、繪葉書は三種類呉れるし、ビュローの人は丁寧だし、Dさんの様な人に會ふと御馳走もしてもらへる、ツアーも馬鹿にならない。一度行つても損はない。但し仲間はいゝまく見つけねばならない。何となれば、ツアーには御定連があるからである。此の御定連は次のツアーを頼んでゐる先生の尊敬者であるからである。此んなのゝ中で先生の惡口を言はうものなら、さんだ事になる事は言ふまでもあるまい。

大分寝むくなつたし、電氣も暗くなりましたので此の邊で勘辨してもらひます。針葉樹會への仲間入のお土産としてくだらないものですが此を書きました。種のあり次第、拙文でもよければ又書きます。皆様に送られて東京を去る車中にて（荒）

東京へ歸つて

間にチヨイ／＼上京はしたが「生活の本據」が全く移動したのは一年十ヶ月振りだ。昭和八年の六月に神戸へ轉任し昨年二月に

広島へ流され此の分で行くさ段々西へ、ハテは九州臺灣かと思つてゐたら運のいゝ悪いはわからぬとしても現状にあつては兎に角東京といふ日本一の都へ歸へる事が出来たんだから嬉しくない事はない。

都育ち、といふと嫌に優型に聞えて具合が悪いが江戸に生れて江戸に育つたんだから都育ちには違ひない、其の都育ちの俺には神戸は兎も角として広島なんかにはとても憂鬱で居られたものではなかつた。大方諸兄には御迷惑かも知れないが俺といふ人間はごういふ譯か人なつゝこいのが缺點で友達居ない所はとても淋しくて堪まらない。作ればいゝぢやないかといふかも知れないが人形やお菓子を製造する様な譯には行かぬものだ。山の嫌ひな奴はてんで話にならぬし、かゝ云つて金の勘定なんかしてゐる手輩はどうも虫が好かない。矢張り針葉樹會の連中の様に只もう素質はいゝんだらうが何といふかフワーツとした様な人間が好きなんでね。東京へ歸つて来て嬉しい一番の事は之等の人々(?)に機會ある毎に何となく會へる事だ、馬鹿話の出来る事だ、太平生命にはこんなのが居なくてね、ごいつの顔を見ても朗らかなキザシはちつともない。實際憂鬱にならざるを得ない。何處か買手がなにかと思つてゐるんだがコンちゃんに手相を見て貰つたらベツピンさんにうけがよく、將來太平生命の課長にならなければならぬ運命にあるんだ相で全くウンザリしてゐる所なんだ。誰かいゝ救世主を見つけては呉れませんかね。

×

×

×

此の頃は毎月新しいレコードを聴いてゐますよ、回聴會といふのがあつてね、早く云へば貸本屋の本がレコードに變つただけだが月三圓で毎月二十日に出る各社の新譜中の優秀洋樂レコードを六十圓(表定々價の合計)までだつたら借賃三圓、しかも雨の日でも風の日でも親切な小僧さんが配達して呉れるんだから便利なものでせう。此の會で使用したものは四割引で買ふ事が出来る仕組にもなつて居ます。とに角プロにさつてこんないゝものはないと思ふが東京市内だけといふ制限がついてゐるから地方の人は駄目なんだ。こんな所にも文化の中心東京の有難さがツクツク感じられる譯でせうな。

×

×

×

長女の梓が早生れの爲め今年から學校へ行く様になつた。俺が母親の手に引かれてあの懐しい麴町の小學校へ行つたのは何年前だつたのだらうか。思へば俺の家でもワンヂエネレーションの時の経過を辿つて居たのだつたと四月一日の朝子供が行つて参りますと云つて出て行つた後を考へて何だか目頭に熱いものを感じる様な氣持ちになつたものです。其の下の謙一(四才)は姉と一緒に學校へ行けないと云つて二三日泣き續けて居たが此の頃ではごうやら譯もわからぬが別にダダもこれなくなつた。第三子は女で昭子といふ。勿論アキ子と讀むが之は昭和の昭より安藝の國のアキから來てゐるんです、國を云へば俺の三人の子供は皆産地が異ふんです。名古屋、東京、広島といふ風にね、はじめから之がわかつて居れば名子、東一、廣子とでもつけて居たかも知れない

が、まあ兎に角宜敷たのみますよ。

近頃針葉樹會員の中に心がけの高等なのが出て来た様で、頭のいい方にはお附合は出来ませんからさういふ方々は遠慮なく脱會して戴き度いと思ひます。

小栗が出て来たですね、トンちゃんの好敵手小栗がね、こう云つただけでピンと来るでせうが彼氏ベビーの親父さなつて上つたですよ、トンちゃん此の處、顔ぢやない頭負けの體ですね、うつかりしてゐると北海道さんも今に問題でなくなるかも知れませんかよ。

小栗が出て来たと云へば堀岡が行つて了つたですね、忘れなかつたら見送りに行くさ云つて置いたからいゝやうなもの、チャンと約束通り忘れて了つて到々間に合はなかつたです、間に合はぬ筈です、曾田ぢやないが思ひ出したのが二、三日過ぎてつからでしたからね。短波長の實驗(?)に夢中になつてゐると何もかも忘れて了ふのです。此の前高木君を見送る時も同じでした。ですからですね、今度から送別會は汽車に乗る日にやつて貰ひたいです。さうすれば必ず見送る事は忘れずに済むと思ひます。

それでは又

(クマ)

中島君追悼文集編輯委員よりお願い

故中島嘉一郎君追悼文集に掲載の原稿を御依頼申してある方で未だ御提出のない方は至急磯野計藏宛御送附下さい。

編輯方針の大略は既にお判りの事とは思ひますが猶一應御參考迄に申上げて置きます。

總體的に第一部と第二部とに分けます。第一部は故中島君の登山經歷。第二部は針葉樹會員並に山岳部員の追悼文集です。

但し第一部の登山經歷と云ふものは普通にある、まるで骨組だけと云ふ様な感のする單なる山岳名と年月日の羅列ではなしに、もつと内容的な、血も肉もあると云ふ様なものにし度いのです。

それで、中島君の登高記録を調査した上、同行の會員部員の諸君に夫々割り當てゝ記録の執筆をお願いした譯です。委員協議の上、既にお願済ですから未提出の方は至急お願い致します。そして今申上げた點をよく御含み置き願ひ度いのです。無味乾燥な登山記録を出来るだけ潤のあるものたらしめたいのが我々の主眼なのです。乍併窮極の目的は中島君の登山經歷にあるのですから、山名、時間、同行者名等に就ては出来るだけ詳細に書いて頂き度いのです。登山記録から餘り離れない程度で、登山中の様々なエピソードとか、中島君の人格風貌とか、執筆者自身の登山觀とか其の他何を書かれ様と御自由です。前述の點を充分御考慮に入れて置いて頂けば原稿の形式などは如何様にも構ひません。

第二部の原稿は、形式内容等全く自由にお書き願ひます。第一

部の原稿は行を共にされた方に夫々割り當てたのですが、この第二部の原稿は、若い部員で中島君を知らない方でもドシ／＼御書き下さい。人間的に見た中島君、登山中の中島君、部室に於ける中島君、其の他原稿の材料はいくらでもありませう。或は中島君の死と云ふものから、今更らに想起される山友達の間の友情とか、限りなく書く可き事は盡きないと思ひます。オンチャンのユーモア。毛無山上、日本男子の名を擧げた中島君。會員部員諸兄の想出は數限りないでせう。思ふ存分自由な筆で心残りの無い様に中島君を想起し、語り度いと思つて居ります。

登高記録

○中川孫一君

四月十四日 御嶽—大岳神社—ゴマ檀岩—大岳澤を下る—

養澤—十里木—五日市

四月廿一日 箱根駒ヶ岳—神山—大湧谷—強羅—宮城野—

明神嶽—道了様—新松田—此日南風強く、駒

ヶ岳頂上では風速約二十米、雲低く眺望皆無、

大湧谷は極めて平穩、最乗寺は境内に老杉生

ひ茂り、苔蒸す巖を縫つて清流走り、二十一

丁の參道は日光街道にも勝る杉並木、實に近

郊稀に見る清境、肅然として襟を正さしめる

聖域である。

會員消息

○吉澤松次郎君

四月初より左記に勤務。

麴町區内幸町一丁目三番地一(大阪ビル)

日本放送協會總務局契約課(銀座五六五一)

○岡田謙三君 (舊姓小橋)

勤務先 大阪市南區安堂寺橋通三ノ一五

三菱商事株式會社燃料部大阪支部

自宅 神戸市須磨區須磨本町二八

電話須磨⑦二〇二八

○中島 孚君

勤務先 大阪市北區新川崎町一

三菱鑛業株式會社大阪製鍊所

○堀岡 清君

勤務先 三井物産株式會社門司支店

住所 門司市新貴船町二丁目 水城方

○豊田 忠巍君

勤務先 日立製作所日立工場

住所 茨城縣多賀郡助川町日立工場

平澤役員合宿所

脱會通知

福岡縣大牟田市三池室素社在勤の中森長太郎君より針葉樹會脱會の希望をもらして來られました。同君の意志を尊重し今後同君を針葉樹會員名簿より削除します。